

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：横浜市公田保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小泉 恭子	定員（利用人数）：69名（68名）
所在地：〒247-0014 横浜市栄区公田町740	
TEL：045-892-1530	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1969年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員：14名 非常勤職員：16名
専門職員	保育士 27名 調理員 3名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	乳児室（1～2歳児室） 2室 建物の構造：軽量鉄筋造り1階建て
	幼児室（3～5歳児室） 2室 建物総床面積：467㎡
	沐浴室 1室 園庭 457㎡
	調理室 1室
	トイレ 4室
	事務室 1室
	職員休憩室（更衣室） 1室
	地域子育て支援室 1室

## ③ 理念・保育方針

## 【保育理念】

子どもたちの健やかな成長と幸せをねがって

～全ての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信をもって生きていけるように～

## 【保育方針】

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその育ちを積極的に増進するように努めます

一人ひとりの子どもが、心身ともに健康、安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整え、生きる喜びと力を育めるよう健やかな育ちを支えます

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

横浜市公田保育園は1969年に設立された横浜市立の保育園で、今年で設立55年目になり、定員69名のところ現在は1歳児から5歳児まで68名の園児が通園しています。園はJR本郷台駅又はJR大船駅からバスで約10分から15分程かかり、1969年に建設された公田団地と同時に発足し、その一角に位置しています。園舎は軽量鉄筋造り平屋建てで、高台の立地により空気が澄み渡り、園庭からの眺望も素晴らしく、

晴れた日には栄区内。鎌倉市も一望でき、開放感あふれる環境にあります。園庭には滑り台やブランコ等の固定遊具と砂場を設け、園庭の奥には畑があり、季節ごとに様々な栽培物が収穫され子どもたちの食育活動の場となっています。周囲には樹木が植栽され、小動物や虫に触れあうこともできる環境にあります。

#### 【園の特徴】

園庭には、鉄棒や滑り台、砂場、芝生コーナーがあり、子どもたちは思い切り身体を動かすことができます。周囲にはたくさんの樹木が植栽され、虫や木の実、葉っぱを手にしたたり、集めたりして自然に触れています。畑やプランターで各クラスが作る栽培物を利用して、調理をしてもらったり、子どもたちのクッキング等の食育活動も盛んです。

園内研修は前年度の自己評価から課題を見つけ、職員全体で取り組んでいます。全員が4つのプロジェクトに分かれ、室内環境、園庭環境、防災管理、地域交流について、今年度の取り組みを決めて活動を展開しています。

地域の子育て支援では、子育て支援拠点の「にこりんく」に出向き、男性保育士による「パパ講座」を開催したり、園庭開放や育児講座の開催をしたりしています。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月19日（契約日） ～ 2024年2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特長

##### 1. 自然な異年齢児交流の促進

小規模園のため、子ども同士が顔の見える関係にあり、自然な異年齢交流が行なわれています。砂場では、2歳、4歳、5歳児が遊んでいました。2歳児が小さなスコップでバケツに砂を出し入れして一人で夢中になって遊んでいました。4～5歳児が大型の鍋に砂を入れ、山を作り、トンネルを作って皆で声をかけながら遊んでいるところに、一人で遊んでいた2歳児が来て、砂を山に盛っても邪魔扱いをせず、「そこは駅だから」「線路はこっち」と声をかけ一緒になって遊んでいました。職員は手を出すことも無く、見守りに徹していました。プログラムとしての異年齢保育はありますが、職員は子どもたちが自然に交わり、仲良くきょうだいのような関係ができることを大切に、見守り、声かけをしています。昼ミーティングや職員会議で職員間の連携により年齢を超えた交わりができるよう情報交換をしています。

##### 2. 積極的な地域との関係作り

公立園として、地域との交流を積極的に推進しています。全体的な計画に、公田団地自治会、園庭開放、子育て支援、近隣の保育園・幼稚園・小学校等との交流を掲げています。また、園内研修として地域交流プロジェクトチームを作り、地域交流年間計画を作成しています。

公田団地とは、自治会や老人会を通じて、七夕まつり、焼き芋体験や新年会で独楽回し、けん玉遊び等を一緒に遊んでもらう定期的な交流を持っています。栄区子育て支援拠点（にこりんく）の出張講座では、男性保育士による「パパ講座」の講演を行ったり、近隣の保育施設等で行なう園児との交流保育、地域住民への育児

支援として、園庭開放、育児相談、育児講座、ランチ体験等を行なっています。

事業継続計画を作成し、災害が発生した場合でも必要なサービスが継続的に提供できる体制を整えています。緊急時には地域住民の来訪も考え、哺乳瓶等の備蓄もしています。

### 3. 保護者に子どもの成長をわかりやすく知らせる工夫

1、2歳児や保護者が希望する場合は連絡帳を使い、子どもの保育園での様子だけでなく、子どもの成長や子育ての意図についてもわかりやすく伝えています。3～5歳児クラスには、毎日ドキュメンテーションにして、保育の様子、写真、コメントを書き、保護者が見やすいように玄関に掲示しています。各クラス職員全員で一年間のクラス運営や行事についてポスターを作成し、クラス前の壁に掲示して、保護者懇談会でも説明しています。例えば、5歳児クラスのポスターには、この目標に至るまでの「周囲の思いを感じながら自分をおもいきり表現できる子」の目標が太陽の中に書かれて、曲がりくねった道が書かれています。聞くところ、考えるところ、挑戦するところ、あきらめないところなどが、記載されています。

#### ◇今後期待される点

##### 1. プライバシー保護マニュアルの整備

月間指導計画には保育士の配慮として、「シャワーをする時は、カーテンを閉め近隣から子どもの様子が見えないように配慮する」（3歳児）、「水遊びやプールの際の前後のシャワーは、子どもの動線を工夫して裸でいる時間を短くしたり、外のシャワーを使用する際は、必ずカーテンを使用したりする」（4歳児）と記入しており、プライバシー保護に対する意識は職員間で共有されています。保育の実践面では職員のプライバシー保護の意識は高いと思われませんが、行動基準としてのプライバシー保護マニュアルの作成が望まれます。

##### 2. 保護者から子どもの健康問題で気になる点を健康診断前に問い合わせ

健康診断や歯科健診の実施については、実施の前に通知を保護者に行なっていますが、今後、通知の際に、子どもの健康状態や気になること等を保護者から知らせてもらい、医師や看護師から回答をもらうような取組を行なうことが望まれます。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

公田保育園では平成30年度以来5年ぶりに第三者評価を受審しました。受審にあたり、園長・全職員が、園運営や保育内容に関して改めて見直し、学びの良い機会をいただいたと捉え臨みました。

園長としては共通45項目から園運営の基本姿勢や運営管理、サービスの在り方等、福祉施設である保育所としてのあるべき姿についての学びが深まりました。また、全65項目については、全職員が自己評価を行った上で、プロジェクトリーダー3名が中心となり結果を集計しました。更に項目別に責任者を決め、振り返りや課題解決に向け議論し、自園の現状把握・評価・課題の抽出を行うことができました。その中で課題については様々な園内研修を行ったり、保育の質の向上のために大切にしたいことを話し合ったりするなど、職員一人ひとりが自園や自己の保育を振り返り、課題解決に向けて取り組みました。

また評価機関の方々に①小規模園ならではの自然な異年齢交流の促進②新型コロナウイルス感染症が5類になって新たに築いている地域との関係作り③保護者の皆様に子どもたちの成長を知らせたり保育への思いを伝えたりする工夫として行って

きた幼児クラスのドキュメンテーションや全クラスで作成しているポスターセッション。以上3点を高く評価していただき、大変嬉しく思います。  
最後に第三者評価受審に際し、ご多忙の中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、ご尽力いただきました評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり